

## グローバル教育グローバルマネジメント副専攻プログラム要項

### (趣旨)

第1条 この要項は、小樽商科大学学則第20条の2第2項の規定に基づき、地域と世界を結び、北海道経済の活性化を担う「グローバル人材」の育成を目的とするグローバル教育グローバルマネジメント副専攻プログラム（以下「副専攻プログラム」という。）の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (対象者)

第2条 副専攻プログラムに所属できる者は、本学商学部在籍する2年次以上の学生（以下「本学学生」という。）及び特別聴講学生とする。

### (所属要件)

第3条 本学学生が副専攻プログラムに所属するためには、いずれかの学科に所属し、かつ次に掲げる各号のすべてに該当する者でなければならない。

- (1) 所属手続時のGPAが原則として2.5以上の者。（編入学生については、編入学前の所属大学におけるGPAが原則として2.5以上または同等程度の成績と見込まれる者）
- (2) 優れた語学力を有する者で、次の①から④に掲げる基準のうち、原則としていずれか一の基準を満たす成績を有していること。

- ① IELTS 5以上
- ② TOEIC 550以上（TOEIC IPのスコアを含む）
- ③ TOEFL PBT 480以上又はIBT 56以上（TOEFL ITPのスコアを含む）
- ④ 実用英語技能検定2級以上

2 特別聴講学生の所属要件は、別に定める。

### (所属者数)

第4条 本学学生には毎年度新規に30名程度の所属を認める。

2 特別聴講学生の所属者数は、別に定める。

### (所属手続き)

第5条 本学学生が副専攻プログラムに所属するためには、2年次の4月末まで又は3年次の4月末までに、第3条第1項第2号に定めた成績を証明する書類を添えて、「グローバル教育グローバルマネジメント副専攻プログラム所属申請書」（別紙1）を学長に提出して承認を得なければならない。

2 特別聴講学生の所属手続きは、別に定める。

### (所属者の決定)

第6条 学長は、学部教授会の議を経て、所属者を決定する。

### (科目及び単位数)

第7条 副専攻プログラムに関する授業科目及び履修方法等は、別表のとおりとする。ただし、年度により授業科目の一部を開講しないことがある。

(修了要件)

第8条 本学学生が副専攻プログラムを修了するためには、小樽商科大学学則第40条及び第41条に定める卒業が認められ、かつ次の表に掲げる科目区分に定める所定の単位を修得しなければならない。

科目区分	単位数
地域キャリア教育科目	6
グローバル教育プログラム科目	18
言語文化教育科目	6
合計	30

- 2 本学学生は、第1項表中で示された科目区分に属する授業科目において、小樽商科大学学則第20条で定められた基幹科目、発展科目、自由科目及び専門共通科目に該当する場合は、18単位まで卒業所要単位に含めることができる。
- 3 特別聴講学生の修了要件は、別に定める。

(修了認定)

第9条 学長は、副専攻プログラムの修了要件を充たした本学学生について、学部教授会の議を経て修了を認定する。

- 2 前項の修了を認定された本学学生には、様式第1号の修了証書を交付する。
- 3 学長は、本学学生が副専攻プログラムを修了した場合、成績証明書に副専攻プログラムを修了した旨記載するものとする。
- 4 特別聴講学生の修了認定は、別に定める。

(事務)

第10条 副専攻プログラムに関する事務は、教務課が行う。

(雑則)

第11条 この要項に定めるもののほか、副専攻プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行し、平成25年度本学学部入学生から適用する。

附 則

この要項は、平成27年7月15日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から施行する。

## 別表

科目区分	単位数	左記に対応する授業科目			備考
		授業科目	必修	選択	
地域キャリア教育科目	6	地域活性化システム論 グローバリズムと地域経済 地域学 総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ 社会連携実践Ⅰ 社会連携実践Ⅱ 社会連携実践Ⅲ		2 2 2 2 2 2 2 2 2	
グローバル教育プログラム科目	18	グローバルマネジメント入門 ビジネス経済学Ⅰ ビジネス経済学Ⅱ 実証研究入門 国際経済学 グローバルフィールドワークⅠ グローバルフィールドワークⅡ 日本経済 アジア太平洋経済協力 アジア太平洋におけるマーケティング戦略 世界の中の日本企業 日本的経営入門 グローバルインターンシップⅠ グローバルインターンシップⅡ グローバルセミナーⅠ グローバルセミナーⅡ グローバルセミナーⅢ グローバルセミナーⅣ 研究論文 外国の大学等に留学して履修した 授業科目のうち別に定めたもの	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2科目 以上選 択必修 ※

言語文化教育科目	6	上級日本語Ⅰ	2	
		上級日本語Ⅱ	2	
		上級日本語Ⅲ	2	
		上級日本語Ⅳ	2	
		日本事情Ⅰ	2	
		日本事情Ⅱ	2	
		英語上級Ⅰ	2	
		英語上級Ⅱ	2	
		英語上級Ⅲ	2	
		英語上級Ⅳ	2	
		外国語上級Ⅰ	2	
		外国語上級Ⅱ	2	
		外国語上級Ⅲ	2	
		外国語上級Ⅳ	2	
		ビジネス英語Ⅰ	2	
		ビジネス英語Ⅱ	2	
		比較文化Ⅰ	2	
		比較文化Ⅱ	2	
		英語コミュニケーションⅠ	2	
		英語コミュニケーションⅡ	2	
アジア・オセアニア事情	2			
ヨーロッパ事情	2			
アメリカ事情	2			

※外国の大学等に留学して履修した授業科目の算入可能科目については別に定める。

別紙 1

グローバル教育グローバルマネジメント副専攻プログラム 所属申請書	
平成 年 月 日	
小樽商科大学長 殿	学生番号
	所属学科
	氏 名 ○○○○
<p>私は、小樽商科大学グローバル教育グローバルマネジメント副専攻プログラムに所属したいので審査願います。</p> <p>(添付書類)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・優れた語学力を有することを証明する書類</li><li>・所属学科長の許可書</li></ul>	

様式第 1 号

第 号	
グローバル教育グローバルマネジメント 副専攻プログラム 修了証書	
氏 名 ○○○○	
<p>上記の者は小樽商科大学グローバル教育グローバルマネジメント副専攻プログラムを修了したことを証する</p>	
平成 年 月 日	
小樽商科大学長 ○ ○ ○ ○	